

## 参考文献

1. 五味充子「高松塚古墳の服飾」『服装文化』175、1978
2. 『弘法大師と密教美術』展図録 京都国立博物館他編集 朝日新聞社 1983
3. 谷信一「武家肖像画概説」『室町時代美術史論』1942
4. 宮次男「肖像画」『原色日本の美術 21 面と肖像』小学館 1994
5. 田中一松「合戦絵の展望」『日本絵巻物全集』9 巻 角川書店 1964
6. 秋山光和『日本の美術 10 絵巻』小学館 1975
7. 村重寧「肖像画の忌避」『天皇と公家の肖像』（『日本の美術』387 号）至文堂 1998
8. 宮島新一「武家風俗画と肖像画」『近世武將の美術 姫路城と二条城』（『日本の美術』第 18 巻）学習研究社 1979
9. 森田義之「ヨーロッパにおける「王」の肖像—イコノグラフィ—と機能」(『天皇と公家の肖像』387 号) 至文堂 1998
10. 米倉迪夫「源頼朝像 沈黙の肖像画」『絵は語る 4』平凡社 1995
11. 丸山伸彦『武家の服飾』（『日本の美術』340 号）至文堂 1994
12. 谷信一「武將肖像画概説」『室町時代美術史論』東京堂 1942
13. 梶谷亮治「法体像の成立」『僧侶の肖像』（『日本の美術』388 号）至文堂 1998
14. 宮島新一『武家の肖像』（『日本の美術』385 号）1998
15. 『室町時代の美術』展図録 東京国立博物館 1989
16. 『越前朝倉の絵師たちと李朝絵画展』福井県立美術館 1990
17. 『土佐派絵画資料目録(1)肖像粉本(1)』京都市立芸術大学芸術資料館 1990
18. 『伊達政宗と家臣たち』展図録 仙台市博物館 1987
19. 『大内文化の遺宝』展図録 山口県立美術館 1989
20. 竹内尚次「武田氏をめぐる肖像画群」『MUSEUM』152,164 号 1963,64 年
21. 守屋正彦「戦国武田氏の絵画」『仏像を旅する中央線』（別冊『近代の美術』）至文堂 1990

22. 『山梨県史』文化財編(鈴木真理子解説による 616、617 頁) 山梨県 1999
23. 『山梨県史』文化財編(守屋正彦解説による武家肖像画解説 389-403 頁)山梨県 1999
24. 野沢公次郎編集『武田遺宝集』発行武田信玄公宝物保存会 1972
25. 磯貝政義編『武田信玄のすべて』新人物往来社 1978
26. 標泰江「武田親族衆としての穴山氏の研究—特に河内領支配の在地構造をめぐって—(1)  
—(4)」『甲斐路』2,3,6,12号 1961-66
27. 秋山敬「穴山氏の武田親族意識—南松院蔵大般若經奥書の全容紹介を兼ねて」『甲斐路』  
59, 1987
28. 黒田日出男『王の身体王の肖像』平凡社 1993
29. 沼田頼輔「高野山成慶院所蔵信玄壽像に就きて」『考古』第1編第7号 1899
30. 藤本正行「謎の戦国武将画像」『別冊歴史読本』1982.4月号
31. 藤本正行「武田信玄の肖像 成慶院本への疑問」『月刊百科』308号 1978.6月号
32. 加藤秀幸「武家肖像画の信の像主確定への諸問題(上、下)」『美術研究』345、346号 1988、  
1989
33. 宮島新一『肖像画』(『日本歴史叢書』)吉川弘文館 1994
34. 黒川真頼『訂正増補考古画譜』1888
35. 鈴木敬三編集『古典参考資料図集』国学院高等学校 1988
36. 中島純司『長谷川等伯』(『日本美術全集』10)集英社 1980
37. 『後北条氏と東国文化』(特別展図録)神奈川県立博物館 1989
38. 藤原覚一『図説日本の結び』築地書館 1974
39. 沼田頼輔『日本紋章学』人物往来社 1979
40. 宮島新一「戦国時代を生き抜いた北国の画人たち」『越前朝倉の絵師たちと李朝絵画展』  
福井県立美術館 1990
41. 中村孝也『徳川家康公伝』日光東照宮社務所編 1965
42. 『家康の遺産—駿府御分物—』編集発行 徳川美術館 徳川博物館 1993
43. 清雲俊元「南化玄興と長谷川等伯—高野山成慶院武田信玄像をめぐって—」『武田氏研究』

5号1988

44. 土居次義「長谷川等伯と信春の関係について」『画説』17号1938
45. 土居次義「再び等伯と信春の関係について」『人文』2号1953
46. 土居次義「長谷川信春補講」『國華』847号1962
47. 土居次義『長谷川等伯。信春同人説』文華堂1964
48. 土居次義「長谷川信春について一等伯・信春同人説を中心にして」『國華』893昭和41
49. 山根有三「等伯研究序説」『美術史』1号美術史学会1950
50. 山根有三「等伯研究総論—信春時代を含む等伯の画風展開」『桃山絵画研究 山根有三著作集6』中央公論美術出版1998
51. 坂輪宣敬「長谷川等伯をめぐる二、三の問題 日蓮宗関係の画像を中心として」『立正大学大学院紀要』13号1997
52. 遠藤幸一「新出「信春」印・「法印日 銘高僧図」」『富山大学教育学部紀要』31号1988
53. 林家辰三郎「等伯の画業と法華衆—能登の妙成寺と京都の本法寺」『國華』900号1967
54. 橋本綾子「等伯の信仰と日通上人像」『國華』901号1967
55. 源豊宗『等伯画説』和光出版社1963
56. 宮島新一『武家の肖像』（『日本の美術』385号）至文堂1998
57. 萩原頼平編『甲斐志料集成』歴史図書社1932-35
58. 石井進、真壁町編著『真壁氏と真壁城—中世武家の拠点—』河出書房新社1996
59. 宮島新一「真壁氏伝来の肖像画について」『真壁家の歴代当主—史実と伝承—』展図録 真壁町歴史民俗資料館1998
60. 寺崎大貴「真壁家の歴代当主—史実と伝承—」『真壁家の歴代当主—史実と伝承—』展図録 真壁町歴史民俗資料館
61. 村上直次郎訳『異国叢書 耶蘇会士日本通信』駿南社1928
62. ルイス・フロイス『日本史』畿内編 第55章
63. 守屋正彦「戦国武将信玄の美意識」『戦国武将武田信玄』萩原三雄編 新人物往来社1988
64. 守屋正彦「近世絵画における「武田信玄図」に見る不動様忿怒相について」『甲斐中世史と

仏教美術』名著出版 1994

65. 石毛忠「織豊政権の政治思想」『日本思想史講座 4 近世の思想 1』雄山閣
66. 土居次義「桃山時代の画家と肖像画」『MUSEUM』21号 1952
67. 『日本の神』（『別冊太陽』日本のこころ 68）監修山折哲雄 平凡社 1989
68. 内藤昌「安土城の研究 上下」『國華』987、988
69. 『狩野派の三百年』展図録 江戸東京博物館 1998
70. 『天海僧正と東照権現』展 栃木県立博物館 1994
71. 『日光山輪王寺の仏画』栃木県立博物館調査研究報告書 栃木県立博物館 1996
72. 守屋正彦「本館所蔵調査報告「武田二十四将図」に就て」『山梨県立美術館研究紀要』2号 1980
73. 奥出賢治「家康・東照宮と徳川十六将図」『家康と東照宮』展図録 名古屋城 1992
74. 河野元昭「高橋由一—江戸絵画史の視点から—」『幕末明治の画家たち—文明開化のはざまに』辻惟雄編 ハリカン社 1992
75. 谷信一「出陣影の研究」『美術研究』67、68号
76. 『上杉家御年譜』米沢温故会 1988
77. 『新発見 川中島合戦図屏風の世界』調査図録 和歌山県立博物館 1993
78. 高橋修「新発見 川中島合戦図屏風と紀州」『新潟史学』31号 新潟史学会 1993
79. 守屋正彦「江戸絵画に見る武田信玄の復活」『戦国武将武田信玄』新人物往来社 1988
80. 守屋正彦「武田氏に関わる近世絵画の展開」『錦絵に見る戦国絵巻 武田信玄の世界』展図録 山梨県立美術館 1988
81. 守屋正彦「山梨県立図書館甲州文庫 武田関係絵画資料について」『甲府市史 別編II 美術工芸』ぎょうせい 1988
82. 『甲州文庫目録』上下 山梨県立図書館 1971